小石川後楽園　＋　涵徳亭ランチ会





小石川後楽園は、都内に現存する大名庭園の中で最も古く、江戸期を代表する典型的な回遊式庭園です。「海・山・川・田園」に見立てた起伏に富んだ景観の中に、日本と中国の景勝地が数多く展開する和漢の調和が美しい庭園です。

水戸徳川家の江戸上屋敷内の庭園。寛永 6（1629）年初代藩主頼房が庭の造営に着手し、2 代光圀に引き継がれた。明の遺臣朱舜水を儒臣として登用し、中国趣味を取り入れた回遊式築山泉水庭園である。園名は『岳陽楼記』の「天下の憂いに先だって憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ」から、後楽園と光圀が命名した。小石川と冠したのは、大正 12 年（1923）であり、岡山後楽園と区別するためであった。現在は都立の庭園として公開されている。（国指定特別史跡・特別名勝）（文京区 HP より）

2026.10.31(土) 11:00～14:00　快晴　　参加者 31 名





１班



２班



３班



４班



５班



６班









